

◎ あとがき ◎

微生物は病原微生物として疾患の原因となるが、常在微生物叢は宿主の恒常性の維持や免疫の成熟促進などによりヒトの健康に重要な役割を果たしている。ヒトと共存する微生物叢でもっとも重要なのは腸内細菌叢である。腸内細菌叢は生直後から、周産期の環境因子や遺伝因子の影響を受けて形成される。何らかの原因により腸内細菌叢に異常（ディスバイオーシス）が生じるとさまざまな疾患の発症リスクが高まることから、これまでのコホート研究の結果から明らかになっている。本特集ではタイトルを“常在微生物叢”とした。これは二つの点において腸内細菌叢のみを対象とするのとは異なる。一つはヒトに共生するのは細菌だけではないため、ウイルス、真菌、ファージなどについても可能な限り言及した点である。現時点では多くの研究が細菌叢を対象とし、他の微生物叢の研究は不十分であるがこれらも重要な課題である。二つめは消化管に限らず、皮膚、呼吸器、上気道および母親の腔内の微生物叢にも着目した点である。ヒトが外界と接するすべての上皮や粘膜において、そこに微生物が存在していれば宿主に何らかの影響を及ぼしている可能性がある。

総論ではこれらの点について、各分野のエキスパートの先生に解説をお願いした。基礎知識がない医師には難しいかもしれないが、全体像を概観するためにもぜひ通読をお勧めしたい。また各論においては腸内細菌叢をはじめとした常在細菌叢と小児疾患の関係や、細菌叢を標的とした治療介入について、さまざまな観点からの解説がされている。

多くの疾患において、ディスバイオーシスは発症前から存在することが明らかになっている。そのため発症前からのプロバイオティクス、プレバイオティクスなどの介入により、アレルギー疾患の一部では発症予防ができるという報告もある。ただし、常在微生物叢は個人差が大きく環境微生物叢の影響も受けるため、介入の個別最適化が今後の課題であらう。

(杏林大学小児科学教室 成田雅美)

■編集顧問

白木和夫	藤川 敏	阿波彰一	山口規容子
飯沼和三	大和田 操	伊藤文之	柳川 幸重
児玉浩子	岩田 力	麦島秀雄	桃井真里子
山中龍宏	藤澤知雄	横田俊平	小原 明
衛藤 隆	椎原弘章	田原卓浩	横田俊一郎
栗津 緑	五十嵐 隆	稲毛康司	下条直樹
田島 剛	洲上達夫	森尾友宏	大橋十也
浦上達彦	賀藤 均	秋山千枝子	清水俊明

■編集主幹

窪田 満	富澤大輔	東海林宏道	成田雅美
------	------	-------	------

■編集委員

伊藤純子	乾あやの	岩間 達	小野 博
小崎健次郎	小林茂俊	小松充孝	島袋林秀
高橋謙造	日暮憲道	平野静香	広瀬宏之
三浦健一郎	道下崇史	森岡 一朗	

小児内科 第57巻 第8号 (8月号)

2025年8月1日発行 (毎月1日発行)

定価3,190円 (本体2,900円+税10%)

※消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

2025年前金予約購読料 52,690円 (本体47,900円+税10%)

増大号1冊・増刊号1冊 (小児内科・小児外科合同) 含む

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です。

*ご転居の際は「小児内科」とご明記の上、新旧のご住所を営業部までご連絡下さい。

編集 小児内科編集委員会

発行 株式会社 東京医学社

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

E-mail: shonai@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 東京医学社が保有します。

・ **JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089), e-mail: info@jcopy.or.jp の許諾を得てください。

本誌広告取り扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル5F
TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415

メディア・アド
〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9 第1長谷川ビル2階
TEL 03-5776-1853 (代)